

2027年候補者推薦募集

IPSIJ/ACM AWARD FOR EARLY CAREER CONTRIBUTIONS TO GLOBAL RESEARCH



受賞者には

- IPSIJならびにACM 両学会で認められた国際的な賞の授与
 - ACM Award Banquetにご招待、Award Ceremonyで受賞者紹介
 - ACM Award Banquetに参加するための旅費15万円までを補助
- ※ACM Award Banquet 2027年6月頃

候補者の対象：

- 情報処理学会正会員
- 2017年4月1日以降の博士号取得者

推薦締切日：

2026年11月13日

候補者の条件：

- 情報処理学会とACMが対象とする研究分野において、著しい成果を挙げていること

賞の贈呈：

- 3月全国大会で表彰
- 6月ACM Award Banquetに招待

詳細：

https://www.ipsj.or.jp/topics/ACM_Award2027.html



候補者の対象：

情報処理学会とACMが対象とする研究分野において、著しい成果（例：情報技術に関する新しい知見・理論・研究分野の開拓や顕著な発展など）を挙げるとともに、上記成果の代表的な部分を国際的な研究活動（例：国際的共同研究プロジェクトや候補者が海外研究機関と連携して行った活動など、共著論文などによって成果が裏付けられる活動）によって達成した若手研究者で、日本国内の大学や公的研究機関または企業に所属し、本学会の正会員であり、2017年4月1日以降の博士号取得者とします。本賞の選定委員が候補者となることはできません。

情報処理学会論文誌または情報処理学会主催の査読付き国際会議で発表実績があること。国際学会、望ましくはACM発行の論文誌または主催の査読付き国際会議で発表実績があること。過去に本応募の業績に関して、本賞、マイクロソフト情報学研究賞、情報処理技術研究開発賞、IPSJ/IEEE-CS連携賞、長尾真記念特別賞のいずれも受賞していないこと。同年度に募集される上記各賞との重複応募は認めません。

＊候補者の成果は情報処理学会あるいはACMでの発表物には限りません。

推薦の条件：

推薦者は情報処理学会の正会員または名誉会員とします。自己推薦は認められません。

推薦手続：

所定の推薦用紙に必要事項を英語（10ポイント以上のフォント）で記載し、本会宛に提出して下さい。推薦用紙には以下の項目について候補者が何故、本賞に相応しいのかを明記して下さい。さらに候補者の代表論文（情報処理学会および国際学会、望ましくはACMの論文誌・国際会議で公表したもの）3編を提出して下さい。

以下の事項を証明可能なWebページ等を公にアクセス可能にしておくことを強く推奨いたします。

- ・ 候補者の業績の概要（200語以内）
- ・ 候補者の業績の概要（2ページ以内）
- ・ 受賞リスト（0.5ページ以内）
- ・ 情報処理学会、ACM（および他学会）での代表的な活動や貢献（1ページ以内）
- ・ 主要論文・特許リスト（2ページ以内）
- ・ 情報処理学会および国際学会、望ましくはACMの論文誌、国際会議で公表した代表論文3編

選考方法：

推薦された候補者を本学会とACMの委員で構成される選定委員会において評価・選考し、1名の受賞者を選定します。

- ・ 選考の過程で、推薦者に照会する場合がありますので予めご了承ください。
- ・ 選考の過程で、推薦者および候補者の個人情報（氏名、所属、年齢、連絡先（住所、電話番号、e-mailアドレス）等）を、ACMに提供いたしますので予めご了承ください。推薦者には、予め候補者から了承を得ておいて下さい。

賞の贈呈：

2027年3月の本会全国大会で受賞者を発表するとともに賞状を授与する予定です。候補者は受賞が決まった際には、Webサイトに掲載するために、自身の略歴情報（英語と日本語の両方）と最近の写真を提供することを了承いただきます。受賞者は2027年6月に開催されるACM Award Banquetに招待される予定です。

推薦方法：

推薦用紙と代表論文3編（推薦用紙、代表論文ともにPDFファイル）を sig@ipsj.or.jp宛に電子メールで送信して下さい。

照会先：

一般社団法人情報処理学会 調査研究部門
IPSJ/ACM Award 係 sig@ipsj.or.jp